

第2回豊川市都市計画道路網見直し検討委員会における意見について 【対応方針】

・議題(1)第1回検討委員会での意見と対応方針について

H27.10.30時点

意見	意見要旨	当日の事務局対応	対応方針	今回 対応頁
1	高齢者の交通事故対策の一つとして、公共交通の利用促進が考えられる。公共交通に関するアンケートで、新たにこういうルートが欲しいとか、使い勝手が悪いとか、そういう意見があるとする、都市計画道路網整備の必要性の視点で使えるのではないかな。	地域公共交通会議 担当部署と連携を 取って進めていく。	ご指摘のとおり調整をします。	—
2	・防災に関して、各町内の総会や防災訓練等に出向いて、各町内の方にヒアリングする予定などはないか	各町内個別にヒアリングは考えていないが、今年度始めた密集市街地整備事業において、市内で特に危険であると判断した6地区の連区長さんには意見を聞きながら作業を進めている。	—	—
3	まちづくりと一体として道路を考えようとしたときに、過度にマイカーに依存しない道路を考えながら、公共交通を有効に活用していくとともに、健康増進のために歩いても行けるような歩行帯というものも抱き合わせに考えていく必要がある。	まちづくりを主眼に置き、公共交通、歩いて暮らせるまちづくりを念頭に置きながら、来年度以降の作業を進めたい。	ご意見を参考に作業を進めます。	—
4	歩道設置状況図における片側というのは、片側だけで完成形と考えてよいかな。	暫定整備中の箇所が含まれる。また、この図面には都市計画道路だけでなく、細街路も含まれており、地元要望や事故等の状況により暫定的に整備したのものもある。	—	—
5	道路の完成形は両側に全部歩道がなくてはいけないと杓子定規に整備していくのはいかがなものか。人家が片方にはあまり無いとか、逆に商店街が片側にたくさん集まっているのであれば、左右の歩道形式を同じとしなくてもよいのではないかな。ほとんど歩行者が歩かないところなら、側帯や路肩を歩いてもらってもよい。暫定的に片側整備し、完成形は無期限先というような柔軟な解釈も大事である。	ご意見を参考とさせていただきます。	ご意見を参考に作業を進めます。	—
	片側が河川である状況であれば、片側歩道もあるかと思う。また、交通安全のために、通学路を先行整備するというやり方で、暫定整備をすることはある。			

6	本来は歩道が必要なのにできていないという情報の整理はできないか。	都市計画道路で歩道ができていない部分 が、歩道がつながっていないところとして計画上示せる形に	—	—
7	にぎやかなまちづくりをやりたいところ、交通事故の多いところ、歩行者交通量が多いところといった図面と、歩道設置状況を重ね合わせて見たときに、これから歩道をどこに設置していくべきか、その歩道はどういう形のものなのかということ議論する。それはこれからの作業になる。	関連する図面等資料を整理し、今後の作業で検討していく。	ご意見を参考に作業を進めます。	—
8	今回は公共交通のための道路整備をよく考えたい。豊川市地域公共交通総合連携計画の最終アウトプットとして、要約したものを入れておくべき。	ご指摘のとおり整理し対応する。	修正追加します。 最終成果に合わせて資料修正を行います。	別紙1
9	68ページの表だけではなく、防災まちづくりに関する、いわゆる防災計画の中で、道路に一番影響しそうなところの要望は、ここに入れるべき。同時に52ページの体系図に、関連計画として入れる。	ご指摘のとおり整理し対応する。	修正追加します。 最終成果に合わせて資料修正を行います。	別紙1
10	防災まちづくりと連携したみちづくりというところで、杓子定規に70ページのピンク色のところの道路は全部拡幅するというように割り切らないでほしい。建物側でも延焼危険度を下げる対応は可能であり、その地区にとって必ずしも現在の細い道を広げることがふさわしいとは限らない。	参考にさせていただく。 今年度から都市計画課で取組んでいる密集市街地整備事業でも、そこに住んでいる人たちが何を大切にしているのかというところから、地元の方たちと一緒に	ご意見を参考に作業を進めます。	
11	事前復興まちづくりということで地元の方と一緒に取り組んでいる。何がその地域にふさわしいかというのは、一つずつ町に合わせて考えていかなければならない。	なってまちづくりを進めていくように考えている。		

・議題(2)豊川市がめざす将来道路交通ビジョンについて

意見	意見要旨	当日の事務局対応	対応方針	今回対応頁
12	81ページの一冊下の図で点線になっているところに「都市計画道路の幅員の変更、廃止を検討」と書いてあるが、これからは廃止ではなくて変更が多くなっていくという気がする。その変更を表現するのに、点線の表現法に抵抗感がある。3分の1は廃止だというウエートにはしたくないなど思っている。表現の方法は難しいと思うので、直せと言っているわけではない。	あくまで一例であり、3分の1が廃止という意味ではない。	—	—
13	将来を見据えた将来道路交通ビジョンはこれでいいと思うが、ビジョンにもステップみたいなものがあると、一般には受け入れられやすい。都市計画道路のファーストステップで、例えば防災に特化しましょうとか、順番に考えていってはどうか。	整備方針を検討する際にはご意見を参考としていきたい。	ご意見を参考に作業を進めます。	—
14	将来道路交通ビジョンだけがひとり歩きすることはあるか。今回の委員会は、道路交通ビジョンを策定するのではないので、都市計画道路の見直しアウトプットになるということでしょうか。	ご指摘の通り、ビジョンだけを先行して取り立たせることはなく、全体的な公表は全てこの計画が成り立ったときにお示ししていく形になる。	—	—
15	議論を進めて、来年度アウトプットが出てきた後で、もう一度この6章の表現については再検討する予定にしておいたほうがいい。ネーミングの問題もある。	ビジョンについては、来年度の作業の内容いかんによっては、また修正等を加える必要が出てくると考えている。ネーミングも含めて、フィードバックの中で考える。	—	—
16	公共交通関係との情報共有はされているか。	下部組織として作業部会があり、関係部局から職員に出してもらっているし委員長も会議には出席されている。	—	—
17	76ページで、国府駅周辺と書いてしまうと、そこだけのような印象を受ける。方針的な話だと、生活拠点といえば、歩いて暮らせる道路の形成が必要という書き方のほうがいいのではないかと。小坂井地域の話も同様。	ご意見を参考に検討する。	表現方法については、なるべく限定的な表現とならないようにしていきたい。最終成果に合わせて修正を検討する。	—
18	電線の地中化も道路整備とあわせてやっていくのかどうなのか。防災の面でも、地震が起きれば電柱は危険なものなので、できることなら地中化をうたったほうがよくないのか。	ご意見を参考に検討する。	電線類地中化については、現在計画に位置付けられている路線は整備にあたり検討します。その他の路線についてはご意見を参考に検討を進めます。	—

19	豊川市は19も駅があるので、自転車道をもう少し整備して、自転車駐車を整備していけば、鉄道の利用状況も変わってくるのではないかと。そこら辺の論点も入れていただければありがたい。	ご意見を参考に検討する。	ご意見を参考に作業を進めます。	—
20	自転車の駐輪状況や利用の実態がわかるとよい。バス路線網は充実していると思うが、本数が少なく使い勝手は良くない。	ご意見を参考に検討する。	市内の公共自転車駐車場の駐輪状況について整理します。	—
21	観光もメインにすることなら、やはり駐車場が必要になってくるかと思う。また、バスの運行本数や利便性が向上すると良い。	ご意見を参考に検討する。	ご意見を参考に作業を進めます。	—